



# カブトムシ?いや「ダイコクコガネ」

【竹田】レッドデータブック

おおいたで絶滅危惧II類（絶滅の危険が増大している種）に選定されている昆虫「ダイコクコガネ」が竹田市菅生で見つかった。頭部には雄の特徴である角がある。

ダイコクコガネはコガネムシ科。県自然保護推進室によると、牛や馬のふんを幼虫が食べて育つ。かつては農村の多くの家庭で牛などの家畜を飼育していたため、すみかが多く存在していた。農耕機具が普及して家畜の飼育が減り、放牧地も少なくなつたため、生息できる場所が減つたとされる。



竹田市菅生で見つかったダ  
イコクコガネ＝卯野農場

菅生で見つけたのは、「卯野農場」代表の卯野英治さん(76)。顔写真。6月下旬の早朝、同所名物のスイートコーンを従業員と収穫。



作業場で休憩していたところ、地面に体長約3センチの虫を見つけた。

カブトムシだと思つて拾い上げ、観察してみると形状が異なることに気付いた。「70年以上、菅生で暮らすが初めて見た。いい面構えをしている」と驚いた。

縁起のいい名前の虫から力をもらったという卯野さん。「黄金色のコーンの収穫に今季も頑張りたい」と笑顔を見せた。

(指原祐輔)



〔問①〕 ダイコクコガネは何科の昆虫でしょうか？

コガネムシ科

〔問②〕 ダイコクコガネの幼虫は何を食べて育つのでしょうか？

牛や馬のふん

〔問③〕 ダイコクコガネが生息できる場所が減少したのはなぜですか？

農耕機具が普及して家畜の飼育が減り、放牧地も少なくなったため

〔問④〕 近年、身近な場所でも昆虫を見かける機会が減ったと感じることはありますか。もしそうであれば、その原因は何だと思いますか。昆虫の減少が私たちの暮らしや環境にどんな影響を与える可能性があるでしょうか、あなたの意見をまとめましょう。

自由解答